



2023
3/10(FRI)
9:30-18:10

入場
無料
事前登録制

新学術領域「シンギュラリティ生物学」 成果報告シンポジウム

早稲田大学 小野記念講堂

主催：新学術領域「シンギュラリティ生物学」
共催：QST量子生命科学研究所
早稲田大学先進理工学部
早稲田大学理工学術院

SPEAKERS

市村垂生 (大阪大学)
大浪修一 (理化学研究所)
小松崎民樹 (北海道大学)
堀川一樹 (徳島大学)
坂内博子 (早稲田大学)
須原哲也 (QST)
八幡憲明 (QST)
洲崎悦生 (順天堂大)
内田誠一 (九州大学)



ご参加には事前登録が必要です。
申込 URL (Google Form)
<https://forms.gle/MnWhNwF2wPGJZHnLA>
応募締切：3月3日(金)(先着30名)



共催



早稲田大学 先進理工学部



早稲田大学 理工学術院

「シンギュラリティ生物学」とは、これまで看過されてきた少数しか存在しない細胞に着眼する生物学です。多数を占める平均的な細胞の解析に着眼する従来法に対して、未だほとんど調べられていない細胞に眼を向けることで新たな生命現象や新たな科学的視点を見出し、新学術を創生しようという意気込みで5年前に発足しました。私たちが特に重点をおいたのは、少数しか存在しない細胞の中でも、それが**特異点（シンギュラリティ）**となって多細胞社会の状態に劇的な変化を及ぼし得る細胞の発見と理解でした。このような生物学を展開するには稀にしか存在しない細胞を見出す新たな計測法や解析法の開発が必要でした。本成果報告シンポジウムでは、どのような科学的方法が生み出され、またそれを利用してどのような生命現象が見出されたのかに関する成果を報告すると共に、関連する研究を推進する研究者にも話題提供を頂き、今後の生命科学の展望について討論します。

PROGRAM

9:30-9:40	領域代表の挨拶（永井健治：領域代表）
9:40-9:45	共催者代表の挨拶（馬場嘉信：QST 所長）
9:45-9:50	共催者代表の挨拶（坂内博子：早稲田大学）
9:55-10:20	市村垂生（大阪大学）「シンギュラリティ現象を直接観る光イメージング技術 AMATERAS」
10:20-10:45	大浪修一（理化学研究所）「シンギュラリティ生物学のためのデータサイエンスプラットフォーム：現状と今後の展望」
10:45-11:10	小松崎民樹（北海道大学）「シンギュラリティ生物学のための数理・情報科学戦略」
11:10-11:35	堀川一樹（徳島大学）「多細胞システムのパターン形成を駆動するシンギュラリティ細胞の同定と操作」
11:35-12:00	坂内博子（早稲田大学）「神経変性疾患におけるシンギュラリティ現象の解析ツールの開発」
12:00-13:00	昼食
13:00-15:00	ポスター
15:00-15:25	須原哲也（QST）「精神・神経疾患の脳内回路と分子の可視化」
15:25-15:50	八幡憲明（QST）「分子～神経回路～行動」の架橋を目指す脳情報科学」
15:50-16:15	洲崎悦生（順天堂大学）「セルオミクスによる生体組織の空間コンテキスト情報解析」
16:15-16:40	内田誠一（九州大学）「バイオデータ解析に使える機械学習」
16:50-17:50	総合討論（モデレータ：永井健治・馬場嘉信）
17:50-18:00	総評（石渡信一・馬場嘉信：領域アドバイザー）
18:00-18:10	閉会の辞（永井健治：領域代表）

ACCESS

東京都新宿区戸塚町1-103
早稲田大学27号館 地下2階

- JR山手線（高田馬場駅 徒歩 20 分）
- 西武線（高田馬場駅 徒歩 20 分）
- 地下鉄（早稲田駅 徒歩 5 分）
- スクールバス（高田馬場駅 - 早大正門）
- バス（新宿駅西口 - 早稲田）
（渋谷駅 - 早大正門）
（上野広小路 - 早稲田）
- 都電（三ノ輪橋駅 - 早稲田駅 徒歩 5 分）

